

施設関係



小田原市斎場

質 役場庁舎の法定管理業務委託料は756万円であるが、どのような契約をしているのか

答 (庶務課)
 選考業者を決める入札は、3年ごとに行い単年度ごとに契約を締結している。2年目と3年目の契約は、初年度の入札額を基に随意契約により執行している。

質 町営住宅の収支は400万円の赤字になっており、その大半が借地料となっている。また多くの住宅は老朽化が著しいので、早く籠場(家畜保健所跡地)に住宅を新築して、既存の住宅に入居している方に移ってもらうため、優遇制度を設ける考えはないのか。

答 (庶務課)
 籠場住宅の建設を進める一方、入居者の方に聞き取り調査をして住み替えなど、個々の状況に合わせた対応をしていきたい。民間住宅に移った場合の家賃補助制度についても検討していきたい。

質 町営住宅の収支は400万円の赤字になっており、その大半が借地料となっている。また多くの住宅は老朽化が著しいので、早く籠場(家畜保健所跡地)に住宅を新築して、既存の住宅に入居している方に移ってもらうため、優遇制度を設ける考えはないのか。

答 (環境経済課)
 指定管理者が25年度に変更となったことや、桜まつりの入園者数の減少が主な要因である。今ままで個々の施設が別々のイベントを行っていたが、26年度からは、ハーブ館・子ども館・自然館が共同でイベントを実施して集客に努めている。



西平畑公園からの眺望(桜まつり)

質 西平畑公園の入園者減少に対する対策は。

答 (環境経済課)
 ため、作業を進めている。

質 町民文化センターの維持管理費や修繕費・工事請負費は莫大な額になっている。今後のあり方について、どのように考えているのか。

答 (教育課)
 昭和56年に開館して以来34年が経過している中で、修繕費が多くなっている。当面は、最低限の修繕で維持していく。また、平成26年度から受益者負担ということで、大ホール利用者には、照明や音響に係る費用を負担してもらっている。

平成25年度 会計別決算の状況

9会計の歳入決算額 ⇒ 68億3728万円 前年比 △6.6%

※ 1万円未満を四捨五入しているので合計が不一致の場合があります



①国民健康保険事業特別会計	13億4638万円	③その他6会計の合計	7億6248万円
②介護保険事業特別会計	8億2454万円		
・下水道事業特別会計	3億5149万円	・上水道事業会計	1億5049万円
・後期高齢者医療特別会計	1億4907万円	・国保診療所事業特別会計	7500万円
・寄簡易水道事業特別会計	2995万円	・用地取得特別会計	647万円

自主財源 … 市町村が独自に調達できる財源 ⇒ 町税、手数料、使用料、諸収入、分担金 他
依存財源 … 国や県から交付される財源や借金 ⇒ 地方交付税、国県支出金、町債 他